

2025 年度前期 第 94 回ミニサッカーリーグ大会要項

趣 旨	ミニサッカー(フットサル)競技の普及・振興を図るべく、ミニサッカー競技者の技能の向上、生涯スポーツの振興を目的とする。
名 称	2025 年度前期 第 94 回三菱養和ミニサッカーリーグ
主 催	公益財団法人 三菱養和会
期 日	2025 年 4 月 9・16・23 日(水)／5 月 7・14・21・28 日(水) 6 月 4・11・18・25 日(水)／7 月 2・9・16 日(水) 計 14 回 ※4 月 30 日(水)は開催しません。 予備日なし
会 場	(公財)三菱養和会 巣鴨スポーツセンターグラウンド (人工芝)
参加チーム	32 チーム
出場資格	①大会の趣旨に賛同し、大会運営担当者が定めたルールやマナーを遵守するチームであること。 ②20 歳以上の男性でフットサル競技をするのに適した健康状態の者で編成されていること。 ③所定の参加申込手続き(参加申込書の送付、参加費の振込納入)が完了していること。 ④感染症対策をチーム内で徹底すること。チーム内の健康チェックに努め、体調不良者は参加を見合わせる事。
選手登録	各チーム 30 名までとし、登録選手の追加または変更を希望する場合には、試合開催日の前日までにメールにて連絡を入れること。 ※1 度登録した選手は同じリーグ期間中に別のチームで登録できない。
そ の 他	①雨天決行とする。雷や台風などの悪天候および積雪の場合は中断・延期となる場合があります。 ②地震などの天災や交通機関の麻痺、感染症の流行などで実施が困難な場合はやむを得ず大会を打ち切りとする場合がありますので予めご了承ください。

大会規定

競技方法	参加 32 チームを 1～4 部リーグに分け、各部 8 チームによるリーグ戦を行う。 前回(93 回リーグ)の成績を反映してリーグを編成する。 今回(94 回リーグ)の成績は、次回(95 回リーグ)に反映する。 上位 2 チームを昇格・下位 2 チームを降格とする。 なお、4 部リーグの下位 2 チームは一般公募チームと入れ替えとする。
順位決定	【リーグ戦】 勝点の合計の多いチームを上位とし各グループの順位を決定する。 勝点は、勝ち:3 点、引き分け:1 点、負け:0 点とする。 但し、勝点と同じ場合は得失点差・総得点・当該チーム間の対戦成績・フェアプレーポイント・抽選の順序により順位を決定する。
表彰	各リーグの優勝チームとフェアプレーチームを表彰する。 ※フェアプレーチーム選考基準…大会期間中に警告・退場および不戦敗がなく、順位が一番上のチームを表彰する。(優勝チームは除く)
ピッチサイズ	縦 40m × 横 30m とする。
競技時間	試合時間は 40 分(20-5-20)のランニングタイムとする。
競技規定	公益財団法人日本サッカー協会発行「フットサル競技規則 2023/24」による。 但し、以下の項目については本リーグの規定を定める。

- ① リーグ戦の登録人数は1チーム30名以内とする。
- ② 試合当日にグラウンド本部にて参加者に○印を記入すること。
- ③ **登録外選手の出場は認めない。**

警告・退場

- ① 同一リーグ期間中に警告を2回受けた者は、次の試合に出場できない。それ以降の処置については本リーグ運営担当者が決定する。 ※警告を受けた際は、主審に名前を伝えること。
- ② 退場を命じられた者は次の試合に出場できない。それ以降の処置については本リーグ運営担当者が決定する。最終節で退場となった場合、処分を次回リーグに持ち越す。
※退場者が出た場合はその時点で試合を打ち切りにし、不戦敗の扱い(0-4)とする。その時点で点差が5点以上あった場合はそのスコアを適用する。

用具

- ① できる限り背番号付きのユニフォームを着用すること。相手チームと同色の場合ビブスで対応する。
※ビブスは可能な限り各チームで用意すること。
- ② すね当ては必ず着用すること。**袖なしのシャツ、短いソックスは着用を認めない。**
※長ズボンを着用する場合はソックスを外に出し、すね当てを着用すること。GKがフットサルパンツを着用する場合に限り、ソックスは出さなくてよい。
- ③ シューズはトレーニングシューズに限る。スパイク使用不可。
- ④ 主審が危険と判断したものは身につけない。
(眼鏡、ネックレス、ニット帽、ネックウォーマー、ピアス、フード付きのウェア等)

特別ルール

- ① 一人審判制を採用する。
- ② 交代回数は自由とする。但し、**アウトオブプレーの際に主審の許可を得てベンチ側タッチラインの中央付近から入退場すること。**
- ③ 4秒ルール、累積ファウル、タイムアウト、前・後半のベンチ移動は適用しない。
※GKの6秒ルールは採用する。FPはアウトオブプレーの再開の際の遅延行為も警告の対象になる。
- ④ ペナルティエリア内からのシュートは禁止とし、シュートした地点から相手チームに間接FKを与える。
※ライン上のシュートも認めない。(第86回リーグより適用)
- ⑤ ゴールキーパーへのパスはサッカーと同様のルールとし、認められる。
- ⑥ 試合開始時(第1試合 19:25/第2試合 20:15)に人数が5名揃わない場合は不戦敗とする。
なお、不戦敗は0-4で敗れた事とする。
※1 試合中に負傷者が出てプレーを続けられない場合は、例外として4名になっても試合を続ける事ができる。但し、4名未満になった場合は試合を打ち切りにし、不戦敗(0-4)扱いとする。
※2 試合開始時に両チームとも人数が5名揃わなかった場合は両チームとも不戦敗(0-4)扱いとする。
※3 JR山手線または都営三田線が何らかの理由で動かなかった場合で試合開始時に人数が5名揃わなかった場合は、一律に不戦敗扱いとはせずその都度協議して決定する。
- ⑦ スライディングタックルは認めない。但し、シュートブロック等によるスペースへのスライディングは認められる。※GKがペナルティエリア内でスライディングタックルを行った場合はPK(警告)を与える。
- ⑧ コーナーキックはコーナーから1m離すことを認める。その際、コーンは動かさない。
- ⑨ アンダーウェアの色に関しては特に規制は設けない。
- ⑩ 特別な事情が無い限り、グラウンド内でガムを噛むことは禁止とする。

その他

- ① 負傷の際の応急処置は当会で行いますが、その後の処置については当該チームが責任をもって行ってください。
- ② 運営担当者がプレーするのに相応しくないと判断した選手またはチームは除名することもございますのでご承知おきください。なお登録外選手が試合に出場した場合も同様の取り扱いになります。